

令和 7 年10月 8 日

栃木県知事 福田 富一 様

栃木県那須塩原市接骨木447-8
那須地域環境対策連絡協議会
会長 橋本 秀晴

株式会社ミダックホールディングス
「(仮称)那須塩原市における産業廃棄物処理施設設置事業
(管理型最終処分場)」の環境影響評価方法書に対する意見書

私ども、那須地域環境対策連絡協議会は、那須地域の『人と自然と食』に関わる全ての環境問題に関し、市民の立場で環境問題等を関係者、関係機関と連絡調整を行いつつ、那須地域のグランドデザインを構想・立案するとともに、行政等に対し具体的提案を行うことを目的にしています。

農業の生産と管理販売を行う『JAなすの』、水の維持管理運営を行う『那須野ヶ原土地改良区連合』、自治会を統括運営する『那須塩原市自治会連絡協議会』と産廃処理施設設置反対委員会が発起人となり平成18年12月6日に設立し活動しています。

本協議会として、本書のとおり意見書を提出します。

株式会社ミダックホールディングスが計画している「(仮称) 那須塩原市における産業廃棄物処理施設設置事業(管理型最終処分場)」は、那須塩原市の豊かな自然環境と市民の安全な生活に対し、極めて深刻かつ永続的な脅威をもたらすものです。本方法書は、事業が内包する多大な環境リスクを過小評価しており、その調査、予測、評価の各手法は著しく不十分です。環境保護の立場から、施設の設置計画の白紙撤回を視野に入れた抜本的な見直しを強く求めます。

以下に、本方法書が抱える重大な問題点を指摘します。

1. 方法書に関する住民説明会の周知不足と説明責任の範囲

説明会が開催されたことは承知していますが、その運営方法について、地域住民の合意形成を図る上で適切であったか甚だ疑問があります。

説明会の内容は、地域住民が「管理型最終処分場」の設置によるリスクを十分に理解するために、具体的で分かりやすいものであったでしょうか。また、開催の周知は、対象地域の住民に広く行き渡るよう十分な配慮がなされていたでしょうか。さらに、説明会に参加した住民の数は、対象地域の人口に比較して、事業への理解を得る上で十分な規模であったと言えるでしょうか。環境影響があるとされる計画地から3キロメートル以内の地域住民のほとんどは、本計画を知らない状況です。

本件計画の重大な問題の一つとして、立地場所があると思います。本件計画地は、蛇尾川の河川敷のすぐそばであり、蛇尾川が増水した場合、被害を受ける可能性が極めて高い

場所にあります。洪水による被害を受けた場合、処分場内に搬入された有害物質を含んだ廃棄物が周辺地域を汚染するばかりか、下流に押し流され得ていくことになります。また、河川敷に近いということは、処分場の遮水工が河川の伏流水に絶えず曝されて負荷を受け、破損する恐れが極めて高くなるということを意味しています。

上記のような立地にあるということは、本計画は計画地周辺のみならず、隣接の河川を通じて下流域にも大きく影響を及ぼすものです。隣接河川である蛇尾川は、箒川・那珂川と合流し、下流域である茨城県水戸市まで到達します。

平成27年9月に発生した関東・東北豪雨の際には、河川を通じて樹木・農業用機械・牛等が太平洋まで流されており、この那須塩原市で発生した豪雨災害の被害の甚大さを示しています。このため、下流域の住民や利害関係者への説明会等を実施し、計画が抱える多大なリスクを共有し理解を得るべきです。

2. 事業の前提となる広域処理の危険性

本計画は、方法書2-1ページに「県内・県外から排出される産業廃棄物」を受け入れると明記しており、那須塩原市が、広域から集められる有害な廃棄物の最終処分地とされることは、地域に一方的な環境負担を強いるものであり、断じて容認できません。

那須塩原市にはこれまでも多くの産業廃棄物最終処分場が設置されてきた経緯があり、産業廃棄物の広域処理の考えに対しても、十分な社会的責任を果たしています。

また、栃木県内には「県営処分場エコグリーンとちぎ」が設置されており、県内の産業廃棄物の最終処分については問題はなく、今回の施設設置計画は、不要な長距離輸送を行い、輸送中の事故リスクや温室効果ガスの排出を単に増大させ、甚大な環境影響を及ぼすだけのものです。

3. 処分品目の有害性と気候変動を考慮した長期的なリスク

方法書2-2ページの表2.3.2-1には、埋立対象として水銀を含んだものや、有害物質をコンクリート固化したものなど16品目が挙げられています。これらの有害物質を内包した約237万立方メートルもの廃棄物が、那須野ヶ原扇状地の扇頂部に半永久的に存在し続けることのリスクは計り知れません。

方法書では、将来にわたる有害物質の漏出や、自然災害による大規模な環境汚染といった最悪の事態に対するリスク評価が行われておりません。先に示した関東・東北豪雨に限らず、過去の平均的な降水量では図れない局所的、短時間の集中豪雨である線状降水帯が頻繁に発生しており、気候変動の影響を環境影響評価に組み入れるべきです。

しかし、方法書2-1ページの施設方針には、「集中豪雨、土砂崩れ、巨大地震等の自然災害発生時であっても、廃棄物の受入れを継続できる処理態勢を構築します」と記載されています。これは、災害時の環境保全や住民の安全確保よりも事業の継続を優先する姿勢の表れであり、極めて問題です。

本計画は管理型最終処分場であり、遮水シートが敷設されますが、埋め立て地周囲の構造の考えや、貯留する雨水量の算定方法等を提示した上で、環境影響評価を行うべきです。その上で、計画地外への雨水の流出防止策を講じ、施設の安全性の確認と管理基準を作成し、埋立地外への流出を防ぐ義務を負わなければなりません。

近年、マイクロプラスチックによる海洋汚染が地球規模の深刻な問題になっています。隣接している蛇尾川が太平洋まで続く一級河川であることから、万が一、浸出水が外部に

流出した場合には、埋立てられた廃プラスチック類が河川を通じて、マイクロプラスチックによる海洋汚染につながります。

4. 浸出水管理計画の脆弱性と二次汚染のリスク

本計画では、発生した浸出水を場内で処理せず、方法書2-1ページに記載の通り「処分場外に搬出し、外部の水処理施設にて適正処理を行います」としています。これは極めて危険な計画です。

第一に、輸送中の事故リスクがあります。

方法書2-32ページで示されている県道30号線などの公道を利用して浸出水をタンクローリー等で場外へ搬出する際、交通事故による漏出が発生すれば、未処理の汚染水が沿道地域に広がり、深刻な土壌や水質の汚染を引き起こします。

第二に、貯留設備の容量不足があります。

方法書2-16ページに示された1万3千5百立法メートルの浸出水調整設備が、「集中豪雨」や巨大地震などの自然災害時に、確実に機能するのか甚だ疑問です。近年の気候変動による線状降水帯の頻発といった異常降雨を鑑みれば、調整設備の容量を超えて有害な浸出水が周辺へ溢れ出すリスクは非常に高いと言わざるを得ません。

第三に、外部委託の不確実性があります。

浸出水の処理を外部施設に依存する計画は、その施設の稼働状況や受け入れ能力によって、浸出水の処理計画が左右されるだけでなく、災害時等の緊急時に適切に対応できるのか、非常に危険な計画です。

浸出水というもっとも危険な廃棄物を外部に運び出すという発想自体が、環境リスクを広範囲に拡散させるものであり、廃棄物の適正処理を行うに足る事業者であるとは思えません。

5. 地下水汚染リスクの評価不足

本計画地は蛇尾川と箒川に挟まれた那須野ヶ原扇状地に位置しており、地下水の流動は非常に複雑な地域です。方法書では、地下水の水位や流れについて三次元数値解析を行うとしています。その前提となる地質調査が信頼に足るものであるのか、客観性と信頼性に欠けます。特に、地震などによる遮水シートの破損といった最悪の事態を想定した汚染拡散シミュレーションが計画されていません。

那須地域は農業が主要産業であり、多くの農家が地下水を活用しており、一度地下水脈が有害物質で汚染されれば、その回復は絶望的であり、那須塩原市だけでなく下流域の広範囲におよびその被害は図り知れません。

6. 自然環境への影響評価の甘さ

私ども、那須地域環境対策連絡協議会は、現在的那須塩原市の豊かな自然環境の保全に努めています。しかし、施設建設の大規模な工事と、14年間にもわたる産業廃棄物の埋め立てによる騒音、振動、車両の往来、そして万一の汚染物質の漏出によって、那須塩原市の自然環境に与える累積的かつ長期的な影響についての評価手法が具体的に示されていません。

7. 計画の不確実性と無責任さ

方法書には、事業計画そのものの不確実性を示す重大な問題点が含まれています。方法書2-30ページによれば、造成工事に伴い約10万立方メートルもの残土が発生する計画ですが、その処分先について方法書2-31ページでは、「県内で処分予定ですが、現段階では確定していません」と記載されています。これほど大量の残土の処分計画が未定であることは、事業計画の杜撰さを示しており、無責任と言わざるを得ません。

過去には、国内において不適正な残土処分による大規模事故も発生しているにも関わらず、残土の処分計画が未定のまま、環境影響評価を実施することについて、事業者としてどのように考えているのか甚だ疑問です。

以上のとおり、本計画については様々な、そして数多くの問題点があるとともに、方法書についても、事業の実施を前提とした形式的な手続きに過ぎず、那須塩原市の環境と安全を守るための科学的知見に基づく環境影響評価として全く機能していません。